

医薬品の間違った使い方！ 3つの×（バツ）

1つめの× 他人の医薬品を使う、自分の医薬品をあげる

家族や友人が飲んで効き目があっても、自分にその医薬品が合っているとは限りません。風邪でも人によって原因や症状が違ふことがあるので、効く医薬品（使う医薬品）も違ふのです。

特に医師から処方される医薬品（医療用医薬品）は、その人のその時の症状のために処方されたもので、他の人が使えるものではありません。

実際に、奥さんが病院でもらった風邪薬の残りをご主人がのみ、アレルギーを起こして重体になった事故もありました。

他の人の医薬品を使う、自分の医薬品をあげるのは絶対にやめましょう。

目薬や塗り薬など、外用薬も同じです。



2つめの× 自分の判断で、医薬品の量を増やしたり減らしたりする

医薬品が効かないからといって多めに飲んだり、医薬品を飲み忘れたからといってまとめて飲んだり、医薬品を飲む間隔が短かったりすると、医薬品が効きすぎて大変危険です。

また、特に医療用医薬品では自分の判断で飲む量を減らしたり、飲むのをやめてしまうと、症状がぶり返すなど思わぬ不調をきたすこともあります。

自分の判断で医薬品の量やのむ回数を調節しないようにしましょう。

3つめの× 再使用、使用期限の切れた医薬品の使用

以前使って、余った医薬品が家に残っていませんか？ 使用期限が切れた医薬品は、医薬品の効果が弱まるだけでなく、分解した成分が体に悪影響を及ぼすこともあります。特に医療用医薬品は使用期限が短いため、用法・用量を守って、決められた分をきちんと飲み切るようにしましょう。痛み止めなどの頓服薬（症状がある時だけ使用する医薬品）も、処方されて1年以上たったものは使用しないようにしましょう。

また、小児に処方された医療用医薬品では体重に合わせて量が調整されているため、期限が切れていなくても、以前に処方された頓服薬では量が合わなくなっている可能性があります。体重が変わった場合は再使用してはいけません。



医薬品は用法・用量をきちんと守り、正しい使い方をすることで初めて本来の効果が発揮されます。

3つの×（バツ）は絶対にしないようにしましょう！